

東京工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	先端加工学特論 (2022年度以降入学生用科目)	
科目基礎情報							
科目番号	0074		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	機械情報システム工学専攻		対象学年		専2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	参考書：ナノ・マイクロスケール機械工学（東京大学出版会）						
担当教員	角田 陽						
到達目標							
ナノテクノロジーの時代の現在，各種の機械要素においてもナノメートル(nm)オーダの寸法・形状精度が必要となってきた。そこでは，切削や研削といった従来の加工法に加えて，電気的，物理的，化学的な作用を利用した加工法が用いられる。本講義では，μmオーダから原子単位に至るまでの超精密かつ微細な先端加工法の原理，基礎理論等を学び，ナノテクノロジー時代を開拓する実践的エンジニアの基礎的素養としての基礎を築くことを目的に，精密加工および微細加工技術についてを理解し，説明し，利用できることを目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
	各種の精密加工技術について理解し，説明でき，利用もできる。		各種の精密加工技術について理解し，人に説明できる。		各種の精密加工技術について理解しているが，人に説明できない。		各種の精密加工技術について理解していない。
	各種の微細加工技術について理解し，説明でき，利用もできる。		各種の微細加工技術について理解し，人に説明できる。		各種の微細加工技術について理解しているが，人に説明できない。		各種の微細加工技術について理解していない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	講義形式を基本とする。適宜，視聴覚教材の活用，実機による実演，実機の見学や展示会見学などによって，具体的な知識を深めるようにする。						
授業の進め方・方法	講義形式を基本とする。この科目は学修単位科目のため，事前・事後学習として，予習・復習を行うこと。事前・事後学習としてレポートやオンラインテストを実施します。						
注意点	講義に出席し，ノートを取り，自身でも精密微細加工技術についての理解を自修する。本科目の成績は，予習や復習等の実施状況も考慮して判断するため，自学自修は必須である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	精密微細加工技術の概要		精密微細加工技術の概要を理解する		
		2週	微細加工技術の概要		微細加工技術の概要を理解する		
		3週	微細加工技術 リソグラフィ		リソグラフィ技術を理解する		
		4週	微細加工技術 液相エッチング		液相エッチングを理解する		
		5週	微細加工技術 気相エッチング		気相エッチングを理解する		
		6週	微細加工技術 PVD		PVDを理解する		
		7週	微細加工技術 CVD		CVDを理解する		
		8週	精密微細加工技術の応用 (1)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
	2ndQ	9週	精密微細加工技術の応用 (2)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
		10週	精密微細加工技術の応用 (3)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
		11週	精密微細加工技術の応用 (4)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
		12週	精密微細加工技術の応用 (5)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
		13週	精密微細加工技術の応用 (6)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
		14週	精密微細加工技術の応用 (7)		精密微細加工技術の応用技術を理解する		
		15週	精密微細加工技術の応用・まとめ展望		精密微細加工技術の展望を理解する		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	0	30	0	0	100
基礎的能力	0	30	0	10	0	0	40
専門的能力	0	30	0	10	0	0	40
分野横断的能力	0	10	0	10	0	0	20